

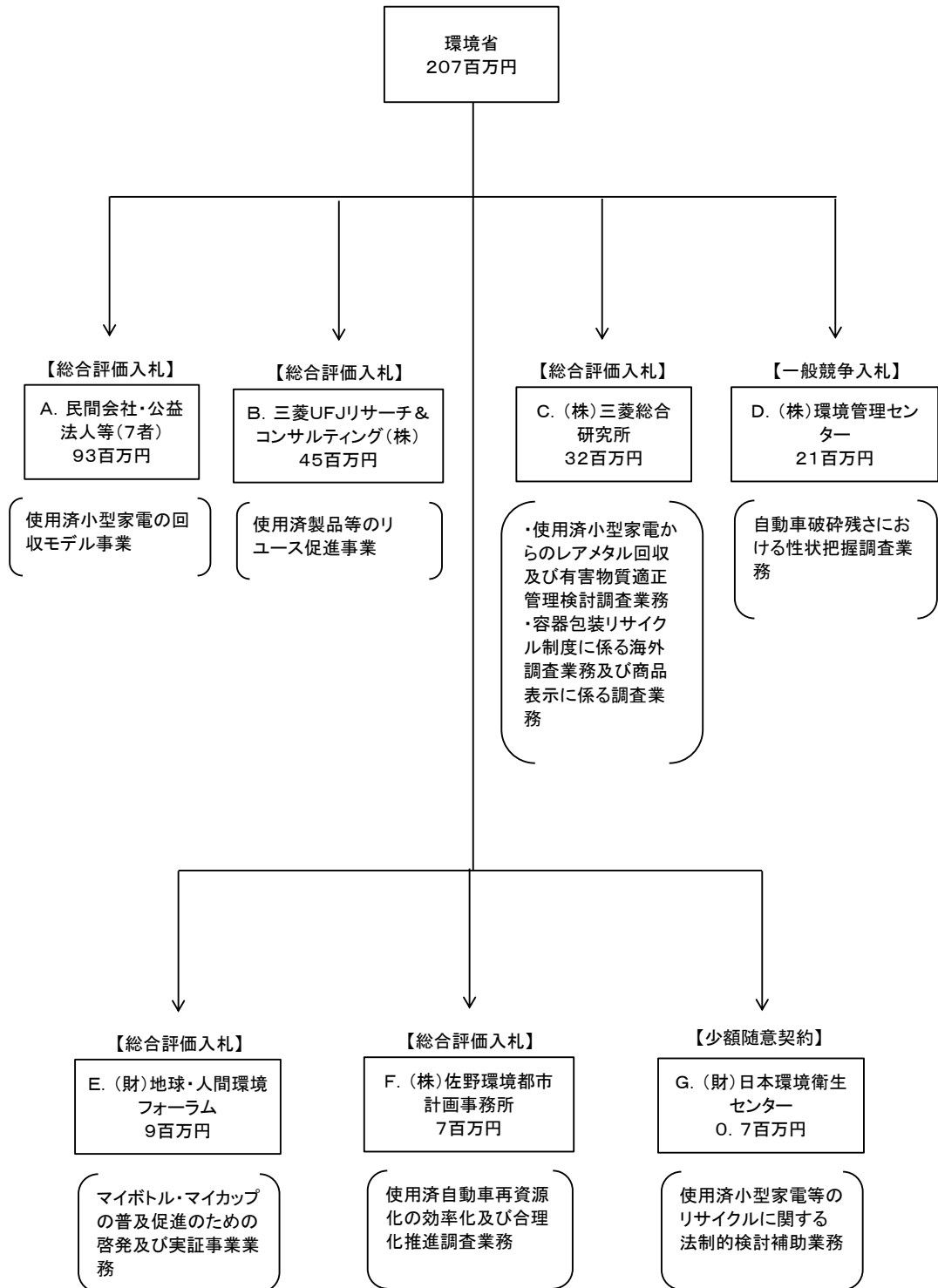
平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	循環型社会づくりビジネス支援事業	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者				
事業開始・終了(予定) 年度	平成19年度～	担当課室	企画課リサイクル推進室	室長 森下 哲				
会計区分	一般会計	施策名	4-2 循環資源の適正な3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法	関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	個別リサイクル法の制定等により我が国の循環利用量は着実に増加してきたが、循環利用がなされないまま焼却・埋立処分されたり、海外に流出している未利用循環資源が、依然として多く存在している。これらの資源を国内で有効利用することができれば、循環型社会の構築に大きく寄与するものと期待される。 未利用循環資源を今後一層活用していくためには、社会全体の負担軽減の観点からも、法制度を導入して特定の循環利用を推進するという従来のアプローチに加え、現行制度下でも民間ビジネスとして成立し得る様々な循環利用の導入普及を支援していく必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	例えば、民間事業者単独の取組では、必要とする循環資源を回収・再利用するシステムを組むことが困難だったり、経済性や技術面での市場ニーズの検証が十分できないなどの理由で、事業化に至らない循環利用について、その事業化に向けた実証支援を行うことにより、新たな循環ビジネスの確立と、国内の他の事業者への普及を通じた循環ビジネス全体の底上げを図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	22	143	220	180	135	
		繰越し等	75	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
		執行額	97	143	220	180	135	
	執行率 (%)	79	174	207				
81	122	94						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	循環利用率(循環利用量÷総物質投入量)		成果実績	%	14.1	調査中	調査中	14～15
			達成度	%	100			
	循環型社会ビジネス市場の規模		成果実績	兆円	44	調査中	調査中	66
達成度			%	67				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	支援事業実施数		活動実績 (当初見込み)	件	5	11	12 (12)	— (7)
単位当たり コスト	17. 2(百万円/件)		算出根拠	執行額/支援事業実施数				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	1	事業内容等の見直し				
	環境保全調査費	179	134					
計	180	135						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	昨年度レビューの結果を踏まえて平成23年度において複数事業を整理統合したものであり、引き続き、事業を重点化しつつ、競争性のある契約方式により効率的な実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		モデル事業や実証事業の箇所数を絞る等、事業内容を見直すことにより、予算額を節減すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
モデル事業や実証事業の箇所数を減らし、事業内容を重点化したことにより、概算要求額を減額。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.(財)秋田県資源技術開発機構			E.(財)地球・人間環境フォーラム		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	使用済小型家電の回収モデル事業 (秋田県事業運営業務)	17	雑役務費	マイボトル・マイカップの普及促進のための啓 発及び実証事業業務	9
計		17	計		9
B.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			F.(株)佐野環境都市計画事務所		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	使用済製品等のリユース促進事業	45	雑役務費	使用済自動車再資源化の効率化及び合理化 推進調査業務	7
計		45	計		7
C.(株)三菱総合研究所			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	使用済小型家電からのレア金属回収及 び有害物質適正管理検討調査業務	27			
雑役務費	容器包装リサイクル制度に係る海外調査 業務及び商品表示に係る調査業務	5			
計		32	計		0
D.(株)環境管理センター			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	自動車破砕残さにおける性状把握調 査業務	21			
計		21	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)秋田県資源技術開発機構	使用済小型家電の回収モデル事業(秋田県事業運営業務)	17	1	98.7%
2	(株)リーテム	使用済小型家電の回収モデル事業(茨城県事業運営業務)	17	1	99.9%
3	(財)福岡県環境保全公社	使用済小型家電の回収モデル事業(福岡県事業運営業務)	15	1	99.9%
4	特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会	使用済小型家電の回収モデル事業(名古屋市及び津島市事業運営業務)	15	1	99.4%
5	(株)エックス都市研究所	使用済小型家電の回収モデル事業(事業運営業務)	12	2	99.6%
6	(株)エムコ	使用済小型家電の回収モデル事業(東京都(江東区及び八王子市)事業運営業務)	10	3	54.3%
7	(財)日本環境衛生センター	使用済小型家電の回収モデル事業(水俣市事業運営業務)	6	3	97.5%

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	使用済製品等のリユース促進事業	45	3	83.6%

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	使用済小型家電からのレアメタル回収及び有害物質適正管理検討調査業務	27	1	75.1%
2	(株)三菱総合研究所	容器包装リサイクル制度に係る海外調査業務及び商品表示に係る調査業務	5	1	99.9%

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境管理センター	自動車破砕残さにおける性状把握調査業務	21	3	67.7%

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球・人間環境フォーラム	マイボトル・マイカップの普及促進のための啓発及び実証事業業務	9	2	92.2%

F

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)佐野環境都市計画事務所	使用済自動車再資源化の効率化及び合理化推進調査業務	7	3	82.7%